

プログラム

10月26日(金)

12:55-13:00 挨拶 秋山 隆彦

13:00-14:00 座長 秋山 隆彦

13:00-13:20 矢内 光 (東京薬科大学・薬学部)  
超強酸性化合物の効率的な合成手法の開発と有機酸触媒としての利用

13:20-13:40 村井 健一 (大阪大学・大学院薬学研究科)  
トリスミダゾリル触媒による不斉プロモラクトン化: 反応機構に関する研究ならびに速度論的光学分割への応用

13:40-14:00 今田 泰嗣 (徳島大学・大学院 ソシオテクノサイエンス研究部)  
 dendritic porphyrin-based catalysts for the oxidation of alcohols

14:00-14:20 休憩

14:20-15:20 座長 竹本 佳司

14:20-14:40 田中 富士枝 (沖縄科学技術大学院大学・生体制御分子創製化学)  
エナミン機構に基づく有機分子触媒反応: 触媒設計と触媒開発戦略

14:40-15:00 三宅 由寛 (東京大学・大学院工学系研究科)  
有機触媒および遷移金属触媒を協奏的に利用したエナンチオ選択的プロパルギル位置置換反応の開発

15:00-15:20 矢倉 隆之 (富山大学・大学院医学薬学研究部)  
ヨードベンゼン-TEMPO ハイブリッド触媒を用いるアルコール類の酸化反応

15:20-15:40 休憩

15:40-16:40 座長 北 泰行

15:40-16:00 中島 誠 (熊本大学・大学院生命科学研究部)  
オキシド化合物を有機分子触媒とする不斉アルドール反応およびその関連反応の開発

16:00-16:20 間瀬 暢之 (静岡大学・工学部)  
超臨界二酸化炭素中における有機分子触媒の低温重合: 有機溶媒・金属フリー乳酸合成

16:20-16:40 小槻 日吉三 (高知大学・理学部)  
有機不斉触媒反応を活用した第四級不斉炭素中心構築法の開発

16:40-17:00 休憩

17:00-17:40 座長 秋山 隆彦

17:00-17:40 【招待講演】 満田 勝 (株)カネカ  
「医薬品プロセス化学の課題と有機触媒への期待」

18:00-20:00 懇親会 — 学習院大学 輔仁会館1階 —

10月27日(土)

9:00-10:20 座長 寺田 眞浩

- 9:00-9:20 波多野 学 (名古屋大学・大学院工学研究科)  
超分子型キラル Brønsted 酸有機分子触媒による反応開発
- 9:20-9:40 徳永 信 (九州大学・大学院理学研究院)  
シンコナルカロイド由来四級アンモニウム塩を用いるエステル触媒的不斉加水分解反応
- 9:40-10:00 田中 正一 (長崎大学・大学院医歯薬学総合研究科)  
ヘリカル2次構造の制御とその有機分子触媒としての応用
- 10:00-10:20 畑山 範 (長崎大学・大学院医歯薬学総合研究科)  
有機触媒反応を活用するインソマイシン及びオキサゾロマイシン抗生物質の全合成
- 10:20-10:40 休憩
- 10:40-11:40 座長 寺田 眞浩
- 10:40-11:40 【特別講演】 吉田 潤一 (京都大学・大学院工学研究科)  
「時間を空間で制御する合成化学」
- 11:40-12:40 昼食
- 12:40-14:40 ポスター発表

前半の部 12:40-13:40 : ポスター番号・奇数

後半の部 13:40-14:40 : ポスター番号・偶数

- PS-1 土肥寿文・山下大輔・○宮崎恵太郎・福島圭一郎・北泰行(立命館大薬)  
酸素架橋型超原子価ヨウ素触媒を用いた窒素原子の酸化反応
- PS-2 滝澤忍<sup>1</sup>・Emmanuelle Rémond<sup>1,2</sup>・○Fernando Arteaga-Arteaga<sup>1</sup>・Jérôme Bayardon<sup>2</sup> 吉田泰志<sup>1</sup>・Sridharan Vellaisamy<sup>1</sup>・Sylvain Jugé<sup>2</sup>・笹井宏明<sup>1</sup>(<sup>1</sup>阪大産研・<sup>2</sup>Bourgogne 大)  
有機分子触媒によるケチミンを基質とする不斉 aza-MBH 反応
- PS-3 ○赤川賢吾・工藤一秋(東大生産研)  
ペプチド触媒を用いた  $\beta,\beta$ -二置換  $\alpha,\beta$ -不飽和アルデヒドへのニトロメタンの Michael 付加による不斉四級炭素中心の構築
- PS-4 ○小島正裕・安井祐介・河村剛志・林雄二郎(東北大院理)  
ジアリールプロリノールを触媒とする不斉触媒アルドール反応
- PS-5 ○加藤輝将・大田善也・松岡真一・高木幸治・鈴木将人(名工大院工)  
N-ヘテロ環状カルベン触媒によるメタクリル酸メチルの Tail-to-Tail 二量化反応: 反応機構の考察
- PS-6 ○山崎達哉・中西勇希・林雄二郎(東北大院理)  
有機触媒を用いた不斉四級炭素を有するシクロプロパン体の合成

- PS-7 ○鹿又喬平・守屋謙一・反町啓一・寺田眞浩(東北大院理)  
キラルプレンステッド酸触媒を用いた立体選択的なトリプトファン誘導体の合成
- PS-8 ○高田健司<sup>1</sup>・瀧瀬啓太<sup>2</sup>・陳友根<sup>1</sup>・久保田直也<sup>1</sup>・覚知豊次<sup>2</sup>・佐藤敏文<sup>2</sup> (北大院総化<sup>1</sup>, 北大院工<sup>2</sup>)  
有機分子触媒を用いたアクリル系モノマーのグループトランスファー重合
- PS-9 ○牧口孝祐<sup>1</sup>・小笠原啓孝<sup>1</sup>・菊地誠也<sup>1</sup>・加我晴生<sup>2</sup>・覚知豊次<sup>3</sup>・佐藤敏文<sup>3</sup> (<sup>1</sup> 北大院総化・<sup>2</sup> 産総研・<sup>3</sup> 北大院工)  
有機酸触媒を用いたカチオン開環重合によるポリエステルおよびポリカーボネートの精密合成
- PS-10 ○佐藤敏文・覚知豊次(北大院工)  
フォスファゼン塩基を用いたエポキシ化合物のリビングアニオン開環重合
- PS-11 ○萬代大樹・室田鏡太・菅誠治 (岡山大院自然)  
キラル Brønsted 酸・DABCO・塩化アセチルを用いる第二級アルコールの速度論的光学分割反応の開発
- PS-12 ○山田健<sup>1,2</sup>・廣瀬友靖<sup>1,2</sup>・古田巧<sup>3</sup>・川端猛夫<sup>3</sup>・大村智<sup>1</sup>・砂塚敏明<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup> 北里大生命研・<sup>2</sup> 北里大院感染制御・<sup>3</sup> 京大化研)  
有機分子触媒を用いた有用マクロライド天然物の位置選択的アシル化
- PS-13 ○柴田雅史・池田将啓・本山和樹・三宅由寛・西林仁昭(東大院工)  
プレンステッド酸と銅触媒による協奏的活性化を鍵とするアルコールを直接求電子剤として用いたエナンチオ選択的アルキル化反応
- PS-14 ○雨夜徹・鈴木理代・平尾俊一(阪大院工)  
 $\pi$  共役系分子を用いたグリニャール試薬の酸化的カップリング
- PS-15 ○柴田幸大・山中正浩 (立教大院理)  
ベンゾチアゾリンを用いたリン酸触媒によるケイミンの不斉還元反応の理論的研究
- PS-16 林雄二郎<sup>1#</sup>・五東弘昭<sup>1</sup>・本間正一<sup>1</sup>・Kuppusamy Sankar<sup>1</sup>・Indresh Kumar<sup>1</sup>・石川勇人<sup>1&</sup>・今野光三<sup>2</sup>・由井宏治<sup>2</sup>・都築誠二<sup>3</sup>・○内丸忠文<sup>3\*</sup> (東理大工<sup>1</sup>・東理大理<sup>2</sup>・産総研<sup>3</sup>)  
有機分子触媒を用いる不斉分子内[6 + 2]付加環化によるトリシクロペンタノイド骨格の合成—反応機構に関する計算化学的考察—
- PS-17 ○吉村祐一・菅野裕也・Y. B. Kiran・名取良浩・斎藤有香子・高畑廣紀(東北薬大)  
超原子価ヨウ素試薬を利用したグリコシル化反応の開発
- PS-18 ○牛島大佑・中島梨絵・石川勇人(熊本大院自然)  
モノテルペノイドインドールアルカロイド生合成重要中間体ガイソチザールの全合成研究
- PS-19 ○小林祐輔・谷口大和・猪熊翼・竹本佳司(京大院薬)  
複素環骨格を基盤とする新規水素結合供与型有機分子触媒の開発と不斉反応への応用
- PS-20 ○伊藤大史・佐々木愛子・間瀬暢之(静岡大・工)  
炭素-炭素結合検出型蛍光モニタリング法を用いた効率的有機触媒探索

- PS-21 ○加藤貴大・間瀬暢之(静岡大・工)  
α - アミルピリジン有機分子触媒を用いた基質認識型エノラート形成によるマイケル付加反応
- PS-22 ○竹林克紘・吉川晶子・稲本浄文・根東義則(東北大院薬)  
フッ化物イオンによる有機ケイ素化合物の活性化を介した触媒的修飾反応
- PS-23 ○竹内裕紀・三代憲司・上田善弘・古田巧・川端猛夫(京大化研)  
糖保護基をひとつも用いない strictinin の位置選択的全合成
- PS-24 ○小林真奈人・市川夕貴・森啓二・秋山隆彦(学習院大理)  
キラリリン酸触媒を用いた連続不斉臭素化反応を鍵とする光学活性ピアリールの不斉合成研究
- PS-25 ○佐野正英・原範之・中村修一・柴田哲男(名工大院工)  
新規不斉有機触媒を用いたケチミン類に対する脱炭酸型マンニツヒ型反応の開発および光学活性 AG-041R の合成研究
- PS-26 ○団克矩・寺田眞浩(東北大院理)  
Construction of Unsymmetrical Binaphthyl Skeletons Based on Ferrier Type Rearrangement Catalyzed by Organic Super Base
- PS-27 ○長澤裕貴・山中正浩(立教大理)  
キラリリン酸触媒を用いた分子内 redox 反応によるテトラヒドロキノリン誘導体合成の理論的研究
- PS-28 ○谷村祐哉・石丸香緒里(防衛大)  
(L)-バリン誘導体を用いた不斉アルドール反応における新規な立体制御法の開発
- PS-29 ○照峰龍章<sup>1</sup>・吉田雅紀<sup>1,2</sup>・原正治<sup>1,2</sup>(北大院総化<sup>1</sup>・北大院工<sup>2</sup>)  
第一級 α-アミノ酸を触媒とするアルデヒドの α-アリル化反応による不斉第四級炭素の構築
- PS-30 ○久原亜美<sup>1</sup>・吉田雅紀<sup>1,2</sup>・原正治<sup>1,2</sup> (北大院総化<sup>1</sup>・北大院工<sup>2</sup>)  
第一級 β-アミノ酸を触媒とした β-ケトエステルのエノンへの不斉マイケル付加反応
- PS-31 ○奥田舞衣・山田眞二(お茶女大院理)  
アンモニウム塩との相互作用によるアクリルアニド類の立体選択的光環化反応
- PS-32 ○小田木陽・古郡孝太・渡邊達也・長澤和夫(東京農工大院工)  
グアニジン-ウレア触媒を用いた β-ジカルボニル化合物 α 位の触媒的不斉酸化反応の開発
- PS-33 ○小島浩平・堀次奈津子・安井浩司・長澤和夫(東京農工大院工)  
グアニジン/チオウレア触媒を用いた不斉マイケル反応の開発
- PS-34 ○都築誠二(産総研ナノシステム)  
ハロゲン結合の強さと方向性:高精度 *ab initio* 分子軌道法による解析
- PS-35 ○鳴海哲夫・相川春夫・玉村啓和(東京医歯大・生材研)  
アゾリウム塩によるインドール類の Friedel-Crafts 型共役付加反応

- PS-36 ○木津智仁・大平祐希・浦口大輔・大井貴史(名大院工)  
イオン性 Brønsted 酸を触媒とする不斉プロトン化反応による  $\alpha$ -ヘテロカルボン酸類の合成
- PS-37 ○原口直樹・Parbhej Ahamed・Md. Masud Parvez・伊津野真一(豊橋技科大院工)  
主鎖シコナルカロイド四級塩型高分子による不斉アルキル化反応
- PS-38 ○浅井歩・原口直樹・伊津野真一(豊橋技科大院工)  
軸不斉を有するキラル第 4 級アンモニウム塩を用いた不斉アルキル化反応
- PS-39 ○佐藤真・山中正浩(立教大学)  
柔軟な骨格を持つ有機分子触媒による触媒反応の理論的解析
- PS-40 ○齊藤巧泰・秋山隆彦(学習院大理)  
キラルリン酸触媒を用いたベンゾチアゾリンを水素供与体とする鎖状ケトン誘導体の不斉還元的アミノ化反応
- PS-41 ○武久克磨・山本英治・中村亮太・濱崎昭行・石田玉青・徳永信(九大院理)  
キラル四級アンモニウム塩を触媒に用いる2-アリアルプロピオン酸エステル類の不斉加水分解反応

14:40-16:00 座長 林 雄二郎

- 14:40-15:00 吉田 雅紀 (北海道大学・大学院工学研究院)  
第一級  $\beta$ -アミノ酸を触媒として用いたエノンへの不斉マイケル付加反応の検討
- 15:00-15:20 鈴木 由美子 (上智大学・理工学部)  
有機分子触媒反応を用いる含窒素化合物の合成
- 15:20-15:40 工藤 一秋 (東京大学・生産技術研究所)  
ペプチド触媒固有の選択的反応の開発
- 15:40-16:00 山田 眞二 (お茶の水女子大学・大学院人間文化創成科学研究科)  
カチオン- $\pi$  相互作用に基づく有機触媒設計:イオン液体の有機触媒としての利用
- 16:00-16:10 閉会 (ポスター賞発表)

— 終了 —